

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 ハピネス

| チェック項目 | | はい | どちらとも えない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|--------------|--|---|------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | | 活動の場所をしっかりと分ける事が出来ている。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | | | 職員の男女比が適切である。 | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 6 | | | 活動の場所を分ける事で児童に分かりやすい構造で、床マットを敷き段差を無くす事でバリアフリーにしている。 | |
| 業務 改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | | | 毎朝、支援終了後の職員ミーティングで情報共有しみんなで業務改善に努めている。 | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | | 保護者様から頂いた意見を職員ミーティングで全体に周知し、業務改善を図っている。 | |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | | 自己評価を行い、結果を基に職員間で共有・周知を行い、業務改善に努めている。また、ホームページでも公開している。 | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | | | 第三者による見解を基に業務改善に努めている。 | |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | | 年4～5回研修を行っている。 | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | 支援会議を行い、子ども、保護者のニーズに即した計画書を作成している。 | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | | 保護者から提出して頂いた事前情報等を用いている。 | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | | 毎朝の職員ミーティングにて話し合いを行い、立案している。 | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | | 毎朝の職員ミーティングにて話し合いを行なって、プログラムを工夫している。 | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | | | 状況に応じた対応を行い、毎朝の職員ミーティング等を活用して課題検討を進めている。 | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | 放課後等デイサービス計画に即した活動を状況に応じて適宜行なっている。 | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | | 毎朝職員ミーティングを行い、支援内容等の話し合いを行なっている。 | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | | | 当日の利用児童送迎が終了後に、職員間で当日の支援等についての振り返りと共有を行なっている。 | |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | | 職員間から出た情報を基に日々記録を取りながら、今後の支援に関しての検証や改善に努めている。 | |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | | | 相談員や保護者との連絡を密に取り、子どもの状況や日々の記録、職員間の情報を併せて見直しの判断を行なっている。 | | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 6 | | | 状況に応じて複数組み合わせた支援を行なっている。 | | |

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|----|-----------|-----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | | 利用児童と関わっている関係機関が集まり会議を進めている。 | |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6 | | | 学校説明会に参加したり、学校メールに登録し、情報を収集している。また、担任の先生と連絡帳や電話を通して適切に行なっている。 | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 6 | | | | 医療的ケア児童や重症心身障害の児童の利用がない。 |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | | | 相談員を中心に就学前の担当者会議を行い、情報共有、相互理解を図っている。 | |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | 1 | | 相談員を通じて情報を提供したり、状況に応じては相互に連絡を取り合うなど行なっている。 | |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | | | 専門の講師を招いて研修や勉強会を行い、助言を頂いている。 | 今後も職員の知識の幅を広げるために、継続していく。 |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 5 | 1 | | | コロナ自粛が緩和してきたので、今後の活動の幅を広げるために検討していく。 |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 4 | 2 | | | 協議会に参加している他事業所等や地域との連携を図るため、今後検討していく。 |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | | 連絡帳や自宅への送り時、電話やSNSを使用し状況や課題を伝えています。 | |
| | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている | 5 | 1 | | 必要に応じて保護者へ支援プログラムに関する勉強会などの案内を行なっている。 | コロナ自粛が緩和傾向になり、プログラムを計画し易くなってきている事から今後も計画を進めていく。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | | | 契約時など、保護者と一緒に読み合わせと詳細の説明を行い同意を頂いている。 | |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | | 連絡帳や自宅への送りの際などを活用して保護者から聞き取り、必要に応じて助言を行ったり、職員間で情報共有し支援に繋がっている。 | |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 6 | | | 保護者参加の計画を立案し、お知らせ等で案内をし、保護者間の連携を図っている。 | コロナ自粛が緩和傾向になり、プログラムを計画し易くなってきている事から今後も計画を進めていく。 |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | | 子どもや保護者からの意見に関して職員間で情報共有・周知を図り、迅速な対応を行なっている。 | |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | | 毎月配布したり、状況に応じて会社ブログにて発信している。 | |
| | 35 個人情報に十分注意している | 6 | | | 個人情報の取り扱いについては、職員間で意識して取り組んでいる。また、個人ファイルや重要書類などは鍵付きのロッカーで厳重に保管している。 | |
| | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | | 子どもや保護者の状況に併せて、伝達方法を手話やSNSを活用したり、相談員からの協力も得ながら行なっている。 | |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 1 | 2 | | コロナ自粛が緩和してきたので、今後地域との交流を増やしていけるよう計画を進めていく。 |

| | チェック項目 | はい | どちらとも 見えない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|----|---------------|-----|---|--|
| 非常時等の 対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | | | 状況に併せた対応マニュアルを策定し、全職員へ周知している。 | 対応マニュアルをファイリングのみではなく、全体へすぐに周知出来るよう掲示する等の対策を行う。 |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | | | 1 | 年2回(9月、3月)に防災訓練を行うよう計画している。 | 今後も年2回(9月、3月)に行えるよう計画を進めていく。 |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | | 虐待防止の研修に参加したり、参加した職員を中心に、研修会を行なっている。 | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | | | 相談員や保護者へ状況説明を行ってから、組織的な決定を進めている。また、決定した際には速やかに相談員や保護者へ説明し、了解を得た上で進め、その際には計画書等へ記載している。 | |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | | | 保護者から提出して頂いた事前情報などを活用してアレルギー対応を行なっている。 | |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | | ヒヤリハットの事例が起きた際にはすぐに報告書を作成・ファイリングし、全職員へ周知を促している。 | |